

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

なし

(発行年 / Year)

1910

二万六千七百二十

土地建物貸借ノ敷金ノ関ニ慣例ノ例有之義ニ付云々

土地建物貸借ノ敷金ノ関ニ慣例ノ例有之義ニ付云々
其月一〇箇兩第ニハ号ノ以テ由勢出領者
租借ノ趣ニ依リ取柄付金ノ爲ニ行クハ左
記各市町村ノ分右等敷金ノ入ルノ慣例也
ハ此条別紙ノ例書字及添付般書申
出也

明治廿六年一月廿二日

愛媛県知事 松岡由 稔

由勢大正伯前井上般書般

内務省

- 一 松山市 一 和氣郡 三津濱町
- 一 越智郡 宇波町 一 野間郡 津止濱村
- 一 宇摩郡 杉栢村 一 全郡 釜生村
- 一 全郡 川上村 一 西宇和郡 八幡濱町
- 一 東宇和郡 宇和町

上巻

土地

土地建物貸借 敷金・関入・慣例
 一 尚市に於て從來不動産ノ貸借ニ敷金ヲ入ルノ慣例ナリシカ晩今ノ情勢亦ノ流シ且他府亦多寄附者増加スニ隨ヒ借入者ノ不拂ノナスセノ爲メソ以テ近年ニ至リ家屋貸借ノ限リ漸ク其借入ノ付金トス而シテ其敷金ヲ入ルノ方法ハ在ノ如シ

一 敷金ノ期限ハ家屋貸借而已之レヲ入レ耕作地及建築地等ノ貸借ニ之レヲ入レス

一 敷金ヲ入ルルニ總テ双方ノ契約ヨリ成立家賃不拂ノ節之レヲ補償ク充テ目付ナハ貸借満期ニ至リ借入其義務ヲ弁済シ了セザルトキハ敷金ヲ返還セス

一 敷金ノ入ルルニ限リ其家賃ノ幾分ノ低減セリソ以テ貸入ヨリ為金ニ對テ利息ヲ拂フナシ

内務省

土地建物貸借 敷金・関入・慣例
 一 不動産ノ貸借ニ付借入ヨリ貸入ノ敷金ヲ入ルノ慣例
 一 敷金ハ家屋貸借ノ場合ニ限リ耕作地・建築地等ノ貸入ニハ敷金ヲ入ルノ慣例ナシ
 一 敷金ノ預メヨリ其利息ヲ拂フ事ナシ
 一 貸入ノ敷金ソ以テ借賃ノ不拂ヲ他損失ノ補償等ニ充テントソ得トモ又ス約定書ヲ取替セ之レ如シ
 一 貸借満期ニ至リ借入者ヨリ于其時限ノ弁済シ了セザルニ付其敷金ヲ返還スルノ慣例

ナシ

土地建物 貸付 貸入 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 家屋 土地建物 共計 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

金着子 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 其目的 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 其目的 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地

一 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地

一 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地

一 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地 耕作地

内務省

調査事項

一 不動産 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 慣例 ありや

ありや

一 敷金 家屋 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 築地等 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 築地等 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 築地等 貸付 借入 借出 借入 借出 借入 借出

一 敷金 預り金 其利息 拂り 慣例 ありや

ありや

一 敷金 入り 目的 あり

一 敷金 入り 目的 あり

契約の期間内借債ノ不拂見ハ其補償ノ責任ヲ預ケ金主ノ入レシカ擔保ノ責ニ任セシムル契約ノ附帯スル金主ノ入レシムル目的ハ盡シ己カ契約債ノ引当トナス

一 貸主ハ金主若クハ子ノ借債ノ不拂ニ他換失ノ補償等ノ責任ヲ得んヤ

曰 借債ノ不拂ノ補償ニ免ルルコトヲ得んニ他ノ換失ニ至ツテコノ金主ノ以テコレヲ補償スルノ例ナシ但利子金ニ至リテ借債ノ不拂ト雖モコレヲ補償セス預ケ主ニ交附スルノ以テ普通ノ慣例トス

一 貸信満期ニ至リ借主未ダテ所務ノ辦済ヲ了ヘ

内務省

サレバ貸主ハ金主ノ返還スルノ慣例ナヤ

曰 第四項金主ノ目的ニ於テ陸ノ如クナレバ借主ノ行方未ダテ所務ノ辦済ヲ了ラズルコトコレノ返還スルノ慣例ナラ

一 不動産貸借金主ノ慣例 借主ハ金主ノ入レシムル

家屋等ハ金主ノ入レシムル 耕作地ハ古来ヨリ金主金主ト稱シ地味ノ性質ニヨリ

地味ノ借ノ年限ノ定メテ返還スル何日カノ金主ノ入レシムル 敷金金主ハ金主ノ取リ満期ニ至リ元利共金主ノ入レシムル 返サス或ハ右元金ノ返還スルノ慣例ナリ 金主ノ入レシムル年限中不借未借地ノ

恐レムルコトナリ

右之外取畑事一項ニ該当スル慣例ナシ

不動產貸借敷金ニ關スル慣例調(宇磨郡 金生村)

一 耕地地宛り受ノ際地主ハ敷金ヲ入ルノ慣例アリ然レモ耕地租區ニシテ收益ナキモノハ之レヲ入レヌ又其金額ニ於ケル土地ノ善悪水利ノ便否及年柄ニヨリ甚敷多寡アリ常ニ其額定ムル事ナシ

一 家屋運築地ハ既ニ宛り受耕地九坪ハ最初敷金入レんノ外猶入ル事ナシ最ニ新ニ土地ヲ借受ケ運築スル場合ハ敷金ヲ入ルノ慣例アリ其金額ハ場所ニヨリ多寡アリ故ニ定ムル事ナシ

以上耕地宅地共當初借受ノ際敷金ヲ入レムルハ
内務省

手后借金不用ト爲スカ或ハ便宜上他人ニ借受ケテシテ後々多々アリ此時ニ方ツテ當初差入レん敷金ノ額ニ依ッテ双方ノ協議ヲ以テ相易ノ金額ヲ以テ譲受人ヨリ譲渡人ニ差入ル(之レハトモテ)ノ慣例トモテ猶右ノ如ク商人ニ對シテ譲受スルモ皆以上ノ慣例ニ依ル此場合ニ於テハ地主ハ只其借受人ノ変更ヲ申出各異ノ代替ヲ請フ途ノモノトス

一 家屋貸借ハ借主ヨリ相當借家賃ノ貸主ニ納ルノ外敷金ヲ入ル慣例ナシ

一 敷金預リ主ハ其利子ヲ拂フノ慣例ナシ
一 敷金ヲ入ル目的ハ耕地宅地借受人ヨリカレン以テ或許ノ金額ノ地主ハ入ルニアラサレバ容易ニ借受ケ得

と云ふ

ナルニ付自外此慣例ヲ生セシメ若地主ニ土地ヲ返還
スルニ至ルモ亦借金ノ返還ヲ受クルニ於テハ他ニ土地ヲ
借受ケ借金ヲ差入レ得ルノ便利アリ等ニ依テ此レ
カ例トナリタム所ナリ

以上ハ慣例トシテ從東當地方ニ行ハレ居ルモノニアラズモ
確乎不拔ノ法ト云フニアラズ其所以タリ地主ヨリ土地
ヲ借受ケ家許ノ借金ヲ入ルニ一片ノ契約証ヲ授受
スルモノナリ徳義上者初ノ約束ヲ履ルニスモノニ
過キヌ故ニ假令ハ三十年前某甲其土地ヲ借受ケ數
金ヲ入レシモノ其後某甲其土地ヲ借受ケ數
買スルモ借受人ハ依然使用シ居ルヲアリシニ遠
ク買得シタル該地主ハ自ラ借金ヲ手ニセシモノニアラ
ザルヲ以テ不徳義ニシテ該地主モ返還セズ土地ヲ引揚ル
モノアリ此場合ニ於テハ單リ借受人ノ迷惑トナリ之レヲ
請求スルモ權力微弱ニシテ能ハス竟ニ其損失ヲ
被ルシモノアラン所ナリ

内務省

土地建物貸借 借金ノ返還ノ慣例 関 宇都宮郡 川之江村

- 一本村ニ於テハ家屋ノ貸借ノミニ期限ノ定メ亦金ヲ
入ルノ習慣アリ
- 一貸主ハ借金ノ利子ヲ以テ借賃ニ充テ別ニ借家賃
ハ徴收セス
- 一借金ヲ入ルノ目的ハ互ニ自己ノ都合ニ依リ期間
漫リニ家屋ノ明渡シテ請求シ又ハ返還ヲ為ス等
ノ事ニ爲メナリ個々地方ノ習慣トシテ概シ借
家ハ其持主ノ都合ニテ何時ナリニ左右スルヲ得ル

ノ五五

以上總メ之ヲ為サ、ルカクメナリ
右之外他ニ慣例等ハ無シ也

調査事項 西守和郡八幡濱町

一 不動産ノ貸借ニ借主ヨリ貸主ニ資金ヲ入ル、トハ
従来慣例トシテ行ハレサリシカ家屋ニ就テ只一ノ近
例アリ貸主ハ先ツ金利ノ歩合ヲ計リ家賃相當
ノ利潤尺金額ヲ入金セシメ其利息ツ年々ノ
家賃ニ充ツ貸借年限ハ普通十年ナリトス
一 敷金ハ家屋貸借ニ限リ耕作地建築地ニ就テハ貸例
ニ見ス

一 敷金ノ預リ主ハ利子ヲ拂ハス

一 敷金ノ入ル(家屋)借主ハ現金ノ受渡ソ目的トシ

内務省

貸主ハ借賃ノ不拂ナキソ目物トス

一 敷金ノ利子ソ家賃ニ充テ資金ソ損失ノ補

償ニ當ル實例ニ見ス

一 貸借満期ノ片必敷金ハ返付ス其中途ニ動産
ソ解ク片ハ双方ノ協議ニ由ル

土地建物貸借ニ資金ニ関スル慣例 調査和郡

一 不動産貸借上資金ツナス事ニアリ

一 敷金ハ家屋貸借上ノミナラス宅地又ハ山林原野

等ノ貸借上ニモナスコトアリ

一 敷金ノ利子ソ以テ多クハ借賃ニ充ツルモノトス

一 敷金ノ入ルハ擔保ノ主旨ニ出ツ

一 敷金ノ元金又ハ利子ソ以テ借貸又ハ損失等

書

ニ免ツルヲアレバ其ハ特別ノ契約上ヲ成立スル
ニシテ契約ナキ場合ハ此等ノ補償ニ免ツルヲナシ
一貸借満期ニ至リ借主其返済ノ辦済シ了ヘザル
トスルモ貸主ハ未だソ返還スルノ便例ナシ

内務省